

激戦区の営業を支えるマース製品

人のマルハンが「フルマース」で盤石に



『セルフ交換対応POS』の導入実績は550店舗を超える

マルハン東日本カンパニーの最新店舗『マルハン浜松中央店』（浜松市中央区）が4月25日、総台数1001台（パチンコ435台、パチスロ566台）でグランドオープンした。事業承継した店舗から受け継いだマース製品を最新モデルに一新し、巨大市場に打って出る。

静岡

岡県西部に位置する浜松市は、人口も面積も県内でトップの自治体だ。人口は78万人。第2位の静岡市（67万人）を優に上回る。1558平方キロメートルの面積は、岐阜県高山市に次いで全国2番目。同じ静岡県でも県中部や県東部とは異なる県民氣質が漂う。

浜松市内のホール店舗数は31軒（P・WORLD情報）。総台数は2万1141台（パチンコ54%、パチスロ46%）だ。最大店舗は、県内に本社を置く新日邦（藤枝市）の『SUPER CONCORD E市野』（1510台）。

同じく県内法人の浜友A・L（浜松市）やABC（静岡市）も、浜松市内に複数の店舗を展開する。『マルハン浜松中央店』から半径5キロ圏に絞っても、こうした地元企業の1000台超え店舗がゴロゴロしており、非常に濃密な競争環境と言える。

松本純店長は、「承継前よりも台数を増やしましたが、1000台でも少なく感じます。旗艦店クラスの競合と肩を並べるためにも、当面はスタッフの育成や地盤固めに注力するつもりです」と話す。

15店舗の勤務経験がある松本店長は、そのおよそ半数で店長を務めてきた。配属先のほぼ全店が静岡県内。浜松中央店が東日本カンパニーでは比較的珍しいM&A店舗でも、松本店長以上に適任者はいない。

マース最大戦力の設備

周辺設備には、マースエンジニアリングの最新機器が並ぶ。メインカウンターにはエヴォールPOSシステムの『EVO8800』を全4窓に導入。完全セルフで運用している。「マルハンラボ」と名付ける禁煙エリアには、景品交換と残高精算を1台で完結できるエヴォールスマートセルフ交換機『EVO50』を設置した。

スマバチ・スマスロ島には、最新のエヴォールスマートユニットを導入。水平方向に180度転回する5.1インチのLCD液晶タッチパネルは、30度刻みで7段階に角度を調整できる。PS変更する場合も工事は不要。Air紙幣搬送の島端金庫は、妻板に設けた開閉扉に収納した。

「当社の多くの店舗が他社製品を導入しています。その環境が当たり前でしたから、マース製品で初めて分析できるようになったデータには驚きと期待を覚えます」

会員カードもすべて新規発行するこ

とになった。グランドオープン期の発行数は約3500枚。松本店長は、『Web会員登録』がなければ大変だったと振り返る。

「目標の3000枚を上回り、カード発行機を特別に多く用意してもらいました。Webで必要項目をご入力されたお客様には、仮番号と身分証のチェックだけで会員カードをすぐにお渡しできるので、お客様もスタッフも非常に時間の節約になりました」

腕時計型ウェアラブル端末のエヴォールスマートウォッチ『WD410』は、全スタッフ分の50台を導入した。現在は台の呼び出しや忘れ物の保管に役立てるなど、一般的な機能の使用に留まるが、スタッフの習熟度に合わせて高機能なものを試したいという。

「フルマース」によって、できることがたくさん増えると聞いています。草薙アピア店（静岡市、1029台）は20年の大規模リニューアルから、マース製品を使い始めた先輩店舗ですからね。当店にはパチンコ店勤務が初めてのスタッフがいるので、徐々に使用範囲を広げられれば」

誇れるスタッフを輩出

浜松中央店は、承継店舗から引き継いだスタッフや3キロ先で営業していた『マルハン若林店』（閉店）のスタッフ、



松本店長

マルハンが繁盛店を強く望む理由は、それが地域から必要とされる証と考えるからだ。繁盛店に深く関わった人材は、地域から必要とされていることを実感し、自分の役割、店舗、会社に誇りをもつようになる。

「私もまだ、会員分析を自在に操れるには至っていません。今後はお客様のデータを蓄積しつつ、いろいろと検証したいと思います。マースの担当の本多さんと横山さんが快く伴走してくださるので、アフターフォローを含めて不安はありません」

AI



スタッフ不在でも遊技、交換、精算まで完結する禁煙エリア



店頭のタブレット端末でQRコードから会員登録サイトに遷移。Web上で必要項目を入力する



フリック、タップの簡単操作で扱えるエヴォールスマートウォッチ